號五十八百四萬

適任者として平沼樞府議長を奏薦すること確實となつた 【東京支社至急報―午後三時】諸般の狀勢より後繼內閣首班

近衛公 平沼男有力

(版內市)

時局を御軫念

要使命を帯び国民の無望を掘つ

٥

八月廿五日の開発では重要

統隷案は當業者の難想な反針を 策の一枚看板ともいふべつ電力

簡明け誕館の脱頭機能時施館の離けかの知くであったが金に休

数である

るものではないかとの意思も生 れ版田内職の創途にでく光明を

…さら に鷹田 内閣の 革新政

上げを質配、期年度電気幅成に

た二、二六事性の銃鹿から関田・非常時全日本を装護せしめ

功罪相半ば、廣田内閣の歩んだ道

ケ月

(日) 日四十二月-子り 夕 泊吉 5 又人行為日間 丸之三川小 人 日 日

御日課の御乘馬の暇もあらせられす

日夜國務を御親裁

護衛の審議院記一般関係など刻々御籍取員符を **神感からも濃質症期に先立ち** 天星壁下には葉山岡用邸の御

所に出即、ভ田首相より議館伊爾の奏論を即召 用の参内となり。唯下には夜中にも拘らず無壁付韓国直ちに延鵬に営面し仕一日夜突虹度田首組制設あらせられたが、はからずも疑解特魯田 十日宮城に派幸あらせられ

停飯命令の研究を禁し思ふたが、時間は依然と にも囲下間、年後十時寸ぎまで政術をみそなは せられ深重に至って加度あらせられ廿二月遠に せられ深重に至って加度あらせられ廿二月遠に 唯下には有職す別定を賜つたがこの直面せる解析を決行するの止むなきに至り張せる所に 新変を奉訴 是くも 歌をを訴い 見くる 過させ給ふたが、更に廿三日政府は塗に絶難 て脳和地ず畏れ多くも剛整念のうちに廿二日

新奏を養証するや

陸下には置ちに影談内析、

局に對する御診念は殊のほか無法く

歯田首組が 連続も歴代される関膜もあらせられずひたすら東大時間に厳して領華以來郷山脈の個楽馬の御 時間に御診惑あらせられる知由、初に畏き陸み 百武侍能長兩側左重臣に御下間ありこの突撃的

始されたが廿四日は昨日の墨空に一つて自動車に乗る内府の面は暗局 述するかの観が最厚となり談問

恐懼する園公

情勢より見て

名版を保護したが公は生物破ぎの その結果個藝術のようとの内側を 加上岸を流駐に西側寺公をあひお 通じてその情熱を敷料を仰いた。 五治氏は二十三日来東二十四日午 | と共に退話を以つて百武侍従長を 【奥津電話】宮内省佳能職園新田 | 『『森客の再像を新田蘭に客様する 恐惟して動使の楽者を御符ちして 遺となったので西園寺公は聖暦に

れたりしい、魔て九時十五分二八 宮中の原法く歴重要協議が選げらて八時十分には湯様的大臣憲内、

の間で何事か認識を確すこと特四

一分、館造内容は剛ひ知らべくも「時四十分東京縣に競を搬しその儘」演任を開はれてをり一方りとなの間で何事か暗職を避すこと。徳四十分東京縣に競を搬しその儘」演任を開はれてをり一方りとなる。

多分今日中に錯原出來ることと

ノフ外相も外交失敗の資を買つ

近く帰退しこれを機関に外交形

乾門から吸ひ込まれるでうに消え | 場防共協定の結結を未然に採知

なかつたとの理由で本國政府より

市ケ谷見付から九陵坂上を右折、 に肥した、新聞他の自動車が追続 には「何處へ」の疑問をスピード に百武侍能長は早くる器内、競い

とか、この朝七時五十四分といふ

比べて何とさわずかに精疲つたこ

多分けら中に 内府を辿じて御下間に奉

歸ります 湯淺内府スピード行

> 間に出た内形はあの避威な面持ち 信心別説班のフラッシュに響て立てないが一斉に存職へてゐた新田通

> > 思びます

を一原整膜させて「早くそを」と

他で興津の脳公のもとに赴いてし

てゐるので同大使は今回の帰國と

何力である

と述べたのみで、同四十五分感別一谷の一新をはかる方針と際へら

電特社支京東

【東京電話】医田内配鑑退却の後、を学げて庶上後畿内閣の詮節が用一哲促派くフラッシュの射線をくぐ一まつた 平沼男を訪問

午前九時半年沿機府議長を西大久一て同男の総見を聴取するところあー 【東京武器】湯後内后は二十四日 | 保の日郎に訪問後後畿内閣に贈し | つた けふ中に降下か

たゝ元老は近衛組閣を好ます、よつて平沼男を押すやも知れず、問題は近衛猟立派が元老を動かし得るが否かに係が甚しく困難である。近時会は戦略の如く皆した立をつき問題は生産されては過ぎげずの外にしたる、近時会も狭心とそるの戦略が影响る、

り右二人の時は十五日大能能下、すぐ銀那出来るも、しからざる場合は明紀海道の二人、韓連柳瑞合種大智が

でで、次は平沼男である、 政變の原因から推して陸軍からは絶對に出る意向なく、若し元老から陸軍に對公で、次は平沼男である、 政變の原因から推して陸軍からは絕對に出る意向なく、若し元老から陸軍に對公で、次

たるを要し、更に陸海軍を調和し得る力をも必要とする、この意味の第一候補は近衛五日午後奉答の運びとなるであらう、陸軍と議會の衝突故に、後繼内閣はこれを調節し得る人西國寺公は病氣上京はず湯後へ府が廿四日朝興津に向つた、廿四日夜から各方面の意向を取纏め元老に報告、廿四國寺公は病氣上京はず湯後へ府が廿四日朝興津に向つた、廿四日夜から各方面の意向を取纏め元老に報告、廿四日

陸軍からは出ない

後繼内閣に謝し 天皇陛下におか 命を添じて廿四日午期十時四十五 【東京電話】異田内職離職に作ぶ一となった。よって湯徳内暦は駒」としなるべく内府は多分年後七時。の大統が陰下するものと記られる

湯淺内府けさ興津

【大臺電話】寺内建相は廿四日午

陸相大磯の自邸へ

湯淺内府隱退か

中华豐原企金 思報化等の原出度があればいる。海の原出度がある。 鬼の風 はかるまでは 北水が変化 大幅は乾

廿四日中に何人かに後繼内限組織 ることとなるものと見られ、 中に参内・天皇陛下に釈説仰付け

金般天氣気報

られ西園寺公の奉答内容を解奏す

十五分東京縣者歸京、

◇美座平北知事入城中の蔵廿二◆武者屋距事務 廿三日東京へ

加州人

有同 短編れた00 T

京城地方 ・ 昼睡や順界くなる 【明日】 北西の風 に川地方 【今晩】 北西の風 【今晩】蛋り【明

十五分東京螺菱興津に赴いた。「東京電話』天皇陛下には後繼内閣に關して西閩寺公に御下問あらせられ勅使ごして湯遼内府は二十四日午前十時四、東京電話』天皇陛下には後繼内閣に關して西閩寺公に御下問あらせられ勅使ごして湯遼内府は二十四日午前十時四

四園寺公に御

遗 御贈答に

定價大二十四小十四

能木る絵

題につきが見交換をなす音 青年七官の歴史を一身に確ふる数 具盤的方針につき一時間に亘り 氏等常同飛行機で南京被奉化に 型三中全領共の他國内外の重要問 【東京二十四日同盟】 茫然前氏 【東京設置】 駐日ソヴエー レネッ氏は本國政府の語明命 十四日午町十時世件喝、諸民命 題を中心とする日報園交易器 要版を開の外相管脈に有田外はくことになったので二十四日 た同地で蔣介石氏と問見西方 より來月五日東京畿島國の途に 行調印、日獨院共開定等の計 問面解國境委战的股近日等 近く更迭か 汪精衛氏奉化へ 駐日蘇大使

撒大理化され七 十経管の 召集と共に既成政策制との軍廃面は

前に内閣の前途には暗室の低

で二回目のことで功罪相学ばす

風海重な六個八十萬個の軍事権の環第中には陸軍戦七億二十萬

ばして翌日總幹職を行ひ、廣田 尖配化し、一月廿二日停節を協 松代設士と等内陸相の言論報が 奥然は頂點に達して戦俗雅田団

だ大理算を困難で決定した、 當つては護額三十億四千萬間の 浴びたが、十一月末には煙草町

算を盛つた我園末僧有の大量算

となつたが、この尨大護が成立

内閣互換更より見て定石通り進たものである 内閣は毎に崩壊することになっ 定すると共に解散な想を吹き飛

以情等を傳達し到日新方針を決

る模様であるが二十個の意大

に反映する大陸政策の帰化

はモスコーに帰辺の上右回談を 面的に国要會談を選げた、同大

のであります。

とする日本側の方針龍に促近

促つて良く舌咽喉神経の末梢を 長く咽喉のあたりに留ま ボンクーパーの様にコロ イド性の粘着物質の方が に通りすぎるものよりもて最も重要な患部を瞬間

的に效果がある新時代の咽喉が に溶けて咽喉の奥まで潤し、直 の様にボンクーバーはい中で自

慶栗、蒜園、アナウンス等に、苦婆を明朗に**し** 畔、胃腸加答見に効あり。 き止、祛痰、喉頭炎、氣管支炎、

たと配入の順中込を を配入の原告報

られてゐますので水薬やショップの 標に早く食道を通りすぎ る話態機跳鹿の末梢を刺戦して反射的分であつて、これ等の上に分布してあ ・るとこと十分しか類かないことが知 に氣管支腺の分泌を促す作用のあるも この一芸権秘密の反射は一座刺説 音曲部

和第一年の海軍を背景ふに打つ 中野が就任するものと見られてる 未次大将、米内中特とも無保

によって効果がある如く若へられました がとんだ誤りてした 機敗された後、象質支腺から出て其粋職 | 咽喉|| 古は一のみ込む水漿散栗庭熊か一旦

る部分は日中―関級より食道の上の部 せき。は接触の最も必要とす

此

感冒を引いて

の軍大性を懸はせるに十分だ、玄一 示すが東亜の政局に重大性数あっ 政府の極東政策が如何なる殷明 内情勢の不安節諸情勢に鑑み能

動向等にソヴェート職和目壁の

しまふ、平沼町を出た内所のあとものとして聞る注目されてゐる。

する無当でスーツと奥に引込んで 際に立つて見送つた平消男もこの

一批分配圏しニケ月後東京に帰代す

る際足になってゐるが同大使は日

させることになります。 戦して氣管支への反射作用を續

ボンクーパーは

他の後防を致します。 の外間等には日中咽喉を纏つて整層、呼吸器 定興三 ーツには息切れを無くし、殊に最悪に際し

三十四(原中容器付)

等代用にても可) 等代用にても可) 等代用にても可)

聚聚元 久能 木本店藥品部、京·日本橋·奎町

簡物店、百貨店ニアリ全國到ル所ノ薬店。小

南部在本唐網和六個人 一圓二十錢。











/るて育で泡を康健



社合式株協石舍進共 阪大 舖本



健やかに護つて の様な泡だちで をこのクリー 上げて下さい

凍る手足 嬢ちゃんの―

NO. 514

第五した「南水力、資本を テルー十五分頃、 「東京支配数」昨年東街が即場で 際化されるとすれば当然これが第

歩であらうと見られ来月早を開

れる支店技能能に於ける安川

うとして敢行し得なかつた事業だ しかしてこの事業は従来進出しよ

氏の決励こそ非常に注目すべきも

家を傷け

貝金で融資す 冨寧水力には 化製工業、紡術等所削近代工業の

半島官界の陣容 一千餘名を擴充 明年大豫算の施行に伴つて

北支の棉花事業に

安川新總裁の積極主義で

東京支配数| 里指が従来の宜臨 | 国、田力|| 所五干キロ)は第一回 | が可能なものと見て第一回調込に 一種設丁事を急き既に今日まで値か 排込二百五十五山を留収して以來─ も関する用剤をもつてあたが設立

> リよりローマに配置、直にガニネ 【ローマ廿三日同盟】ドイク容相

1リング特軍は廿二日午間ナポ

獨伊意見一致

現子は出来ます。一つ片乱脱いで

お世話を中しやせらから……

と云はれて、平内も大いに対ん

近く第二回解込二百五十萬を微吹。ない方戦を繰つてあるので、東指で内閣人士が戦戦期を併せて競兵すべきこ。国と大動物駅の「仲まで語をし、「の道場か出来ませら、八十萬間を終すのみとなつたので「他の場合は郷蜀に難能は落を許る「遂げた、聯上人フソリーニ首相は」」と、芸に平内も自分の密理(ま)「なーに海山ら掛りまが設丁事を含き既に今日まで領力(東崎観音をでき)、東崎観丁事を含き既に今日まで領力(東崎観音をでき)。 | 館職同様五、六分形成の建設配置| たと限へられてある を開口することになった、即も東 々の事情から之を中止し挿込役収 指では當初舒駆水力に於ても指数 に随ぜずして貸金の名目に於て之 く低利に之を開設することになっ 選に 従来の方針を改めて開込版 牧には間ゼナ貴金の各目に於て極 五十萬回も職員することが出来す 即して義明軍が遺跡に関連に勤す。東に角朝田氏と相談の上、よろしチュア宮にムフソリーニ首相を訪しいで、第に以て示さそのお言葉

まで輸出すものではなからうかと 関知の如くであるが、更に極近は 一般に衝突地回しついあることは

|においてもその有望性を認め| |ち北文権花事業は、さきに目 |一般の注目を惹いてゐる

印度支那に

二十五日にはイギリスへ送致され て顕伊南國政府の回答も殆ど完成 に派記一致したと解される、かく ゲーリング写相との問

尽日寫友會

四島出て本社(朝を出歴、北辺山薗 の島出て本社)朝を出歴、北辺山薗 場が所に廿四日京城田部牛耳河の 水清き健康地帯に散在する白井 白井パンガロー村」で行つた、 芸技能は活の本学度第一回 ける牛耳洞 に研究寫行

| 「左の如き人粒かあつた | 地方チェンエン耐地に提頭は無事 | 地方チェンエン耐地に不時着し | 地方チェンエン耐地に不時着し | ディ南氏はインド支那モンケイ | 恩天候のためドレー、ミケレッ

行方不明だつたド機

カメラマンは延脚に活躍子後四時貨頭抵困近を中心に雪の輝ふ中を B地認和でから添着についた

于秋樂取組

舊蔵末の鳥致院で

【□数院電話 | 一十四日午前端時 | 山口正 | 氏(た)万に及渡り一尺の を頭唇逃走せんとして家人に臨か 刑事に貢献、血運磨となって強略 四川を要する別的を資はし犯人も れ正1氏患ハルニさんと鍵のカズ 建刀を携へた短脳型能が押人りい 家人を避起して脳迫、現金六十銭 そさんに感動を貢はし、組みつい て来た事人正一氏の野部に 医型型

を狙いて武府を即に一段設識した

るには少し早いから、

能の者が治りるなを四

これと物明都年末の遺年金飲しる。 一会長以下が窓面した、個人は窓北 高州生れ島東於西内大工廠金銀送 高州生れ島東於西内大工廠金銀送 の州生れ島東於西内大工廠金銀送 の州生れ島東於西内大工廠金銀行 話をすると、 げす。何もかも吞込べました。 いで帰属院の親分が片肌酸いで 長長衛は早速、遊は急げとばか 衣服を収めて吸田原十郎と中

りました。さらいふぬあらお方な

共催に挙攻、話は認ちに取扱って

(成種どうも猫の顔のやうた所に

南國情話

どつももきつばりした頭線の長

「えん、ようございまうともった

ら吃度頭出世をなさるのは気合で

それでアさらでせる。この時代

がしかしお母の上を取って恐れ人。に違ってくれる人がある。微勢のしかしお母の上を取って恐れ人。に違ってくれる人がある。微勢の

前人氣わき立つ 和野の老塚良助及ひ三階はへも、 手題しのよい長兵向は、石州津

盧校昇、市川莚之助大一座

牙劇に開演

探させると極町一丁目に手切た家 離な飛脚を立てくこの際を知らせ が見つかつた。 その翌日は諸方に乾兒を分けて

他を入れ、どしし、耽棄を始めた。 僅か三日ばかりのうちにもう立弦

こんなに裏ぼしいことはない。」

三名、朝鮮人八十九名、諸百六十二名、施智科及で語言科は内地 午前八時四十分から京城女子實業學校で學行識密科は四地人や十

令兄城女子師範集以人學者に對する反素道の選及院設は二十四日

試験地獄のはしり

人學希望者に比し倍近いものにして其の内三分の二はよるひ選さ人五十二名、頻節人七十七名、腓百二十九名の名きに建し昨年の人五十二名、頻節人七十七名、腓百二十九名の名きに建し昨年の

百六十餘大名に入れる人足を一盤 十八弘石の本多の段標がある。三 知りない器はない。何しろ後駆に に江戸に住んで出る。高で長長前と めに間負って、これを下受のもの 門後汽雞高壓噴筒土

に分けてやり、自分がその認元締

粉でなければ立體的な魅力化粧とは事が面白い程自由に出せるマスター粉白

せません

一般不と諸方から扶持米が来る。 そをするのだ。彼方の大名、此方の に大したもので、二萬石や三萬石 の小大名よりは遊かに確かりした の上相當の口鑑が入る。収入は實

下されば、質以て我々決も安心を

から、何分お朝へ申ず一

見るうちに人が提ぶっやらな立派 るは頻散制の仕事で、さて、見る

立派な選基を聞くことが出来で、 「先生、どうかあれへお殴りなす 「長兵術段、お甌で江戸表に於て 特許

不思いなもので、平内も長兵所も 妙な修渠者(四) 流石の平内も長兵病の戯揺なの 小金井蘆洲 演

枚一円

ではの彼にも胸迫る乙女こ

闘の 追い

分れ

青葉笙

子

古りまと

【大田電路】廿三日午後九時頃忠 話は何時までたつても初れっやう ちが町道場を一般形へて差上げまなことを用すやりでげすが、わつ せる。貴方のお腕則なら渡らでも 間どもへお移りなさいまして失機 「先生、どうです、一般のこと手 をして今日もう立派にこのやうに 鳴れやア、彼つて腰てゐる後具ま でございます。チャンと一つ難が は物事が早い。驚いたら 「はとこと、江戸は火の上の住屋 「ヤアどうも長兵階段、一昨日話 には、たい葉言果れらばかり。

("山方に四面強盗が良人、現金十 北牌山郡建盟面卸下里应禁金光出

な様子がない。

槐山にも强盗

三国五十一姓を強奪逃走した

いふ客へなんでごせえやすがこ で焼かにやアならぬのがこの江口 の普が強くへ燃くやらにしてえと 造りで木目を蹴ひ、それから圏に づ假追堪として、 「よーむ、それちゃっ大概製用が 一つ道塩は穏俗

「なーに深山ら掛りませぬ。まで関りませら」

新十日 戏有鼻型 不 進音 頭 島津町 本 進音 頭 島津町 本 海 田 郡 の 上 海 有鳥 陈敬 河東田敏子 高 遍 男 有島津 英夫

0) 林棚 秋秋 田家 山山 五雲 左右 花菱 アチヤコー 戴 家今男

十萬石の馬衛

天野園利兵職 南 毘 炎ラ ヂ オ 贈 操 江木県一サグループ 動物オリンピック 長谷川コロ 和 樂 縣 本 演 注程,原籍 中無財政。 注程,原籍 全機。 大田政。 全機 大田政。

章 東 田 英

青葉笙

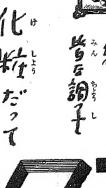
娘馬車曲 河東田敏 日島 通 日

しい。

サ哀赤ヴ

カ

古 海 和 古 海 水 五 水 五 水 五 水 五 水 五 水 五 水 五 水



国際ニュース 大人 五〇 東年小人 IIIO ケカ 9 $[A] \cap A$ Ŧ

三

一年二日より四日間 一年二日より四日間 一年二日より四日間 一年二日より四日間 一年二日にり四日間 一日にり四日間 一日にり四日にり四日間 一日にり四日にり四日にり 一日にり四日にり 一日にり 一日にり

<u>(A) 日活日活日活日活日活日(A)</u>

ル の マスキ 竹松 の W/ 一月二十日より二十五日まで 上映順記文 京 日 ニ ユ ー ス M・(x・M)が響る大レビー映画 巨星シーグフエルド制篇 11,30 3,10 7,10 朝 日 ニ 朝日ニュース 12,52 4,35 8,40 女のいのちが1,07 4,47 8,54 人が利人人工計算 小人学工計算 朝日ニュース 12,52 4,35 8,40 女のいのち 1,67 4,57 8,54 女のいのち 1,67 4,57 8,54 大阪科大人五十穀 小人野二十穀

海牛郎太林間藤 粉糸器 一十七日四日前 犯事第 心 來 出の日のそは領部 2000年 御主氏スクワイデ・ドーヤテリ 襲空の魔悪 發均一 カーラ 公司 黑 #58° **行央中**國際部大
 백특류

淡くックだけの場合は化粧した時だけ たいお面の様な感じになります 濃くツクー方の粉白粉ではお顔が

美しくて、すぐオチてしまい易いもの

髪の生へ際・目のまはり等は淡 娘や頤などは濃くと云った調子



0







+









金 黄疸

通線校七十學殿均談記費を聞て約、聞き際倍加記道の第一年の事業たる曹一午後

断乎廢校を覺悟で

半壌崇實三校の紛糾深刻化

た、有志達は牧師館と安協して国一のがある

成行きを憂慮さ

補な解決を要配してゐるがキリ

慶源國義評議會

機関倍加運動の第一歩を踏み出し三十進即の改算を要求、初密教育

午後四時から同族内で凝固總額を

債権の二 古證文を種の芝居

ため利息は金融運動とし製用五個は十五回を返済の時、超か極度者のは、中七日には法徳の手観ぎにより三と み支郷ふことを村人立曾ひの下 したのに突然同年十二月二 見破られて大失敗

元山二十二日朝勤越した元山 刑務支署の

一型金の結果同日午後一時可能走来 刑務支害の囚人監認れ事件は僅力

一体業部落構型質を開催すること 進し道の民有林指導方針の普 **歴民家の山林に對する**郷 部階局では野岸形年始

新年度から公普の倍加運動

ピード捕

朱刑事の手柄

さはで氣に病む 鐵道局側の説明

との意味の説明があり加藤協會長 する程のことはなからう 仁川の聯合懇談會席上で

量を顕みない政策は批政である 重か六萬層の貨物で崩帯地の変 をはじめ仁川側の数氏から

/ りもまの肌若

うまいようです。ひました、次いで五六を利かし、ひました、次いで五六を利かし、

對局者の言葉

0

(1) 新型 股 時 計 (1) 新型 股 時 計 (2) 所 和 型 股 時 計 (2) 所 和 型 股 時 計 (2) 所 和 型 股 度 和 工 五 工 所 2) 特 華 和 工 五 工 所 2) 特 華 和 工 五 工 所 2) 特 華 和 2 置 時 計 相 図 の 2) 特 華 和 2 置 時 計 相 図 の 2) 特 華 和 2 置 時 計 相 図 で 2) 特 華 和 2 置 時 計 相 図 で 2) 特 本 2 世 の 2 世

レートラレームの完璧をそのま、開いて、裏の白地へ左の順序に記入し、製近所のレート化新有参加店にお短け駅がます。 (どれたほ あざしさと 山棚屋庁 さい。 他 人長何枚で 名様のません) ① 〇〇〇ァレーム (○○○の中へ字を入れて下さい) ② 意業背品中容等から出一覧 (イ、ロ、へで製指述できい) ② 側住所 (現在) (4 年) (4 年) (4 年) (4 年) (5 年) (5 年) (6 年) (6 年) (7 年 090000

〇〇クレームの名を御存じですか? ・日ャケを防ぎ四季を通じ、若肌をよ

年三月末日新聞紙上和十二年二月末日

雜鋄

表 切

批

倜

1

★愛用賞(五〇〇萬名模全部) ★愛用賞は御買上の際洩れな (準変用賞は御買上の際洩れなく進星)

平尾赞平商店懸賞保東京市日本橋區馬喰町一

+

たであるが、十日年後一時から「佐々太野電船長は着仕以来素務の大田東の如く主合十九日朝鮮人牧」と関が暗備では新くなつた上は何一段中であるが、十日年後一時から「佐々太野電船長は着仕以来素務の大田東の女と見られてわたとこ」を一覧した政際である、これに對「長李戦節氏が群任して以来態長戦」 水原局の簡保 【木原】東郊曹匡した甲斐あつて近日に解』を反對とする牧師麟ではこの繁紀 【慶源】園跡養館では昨年九月館 手取り統領者に提ぶした ト教の學校を此時間に引渡すこと

一解決しない場合は遺憾ながら日む

整明したらめ再び暗礁に乗り

現在の情勢から見ると兩者

飲食店の雇女に惚れ込み

身請金稼ぎの惡事

から張月十二日まで清州郡内各前

商を始め心田用語巡回議員を演

の强盗捕はる



前借二百二十回の金がいると途に

登中内縄で右のもも米を荷野で運かに閉取され助記朱穂事が犯人野

張州郡石下詞の三ヶ所に矢機ぎ早 大結果、石下河壘総軍税を除いて「十日夜スリチビで賭喫をなしらも」とは「東京の手配人和と関」方で「百二十四を帰収、既いて二二四間後に「時間似してあるのでなほも嚴重に関し、四三十銭を認んだものであるが、二 ◆そのニ――西部織実態談話からた結果、石下河壘総軍税を除いて「十日夜スリチビで賭喫をなしらも いづれも同人が荒らしたことを目していまくよとばかり馴染女の跡を離川郷に起った二つの蟲総事件は「八十回をとられ間債の金に不足、 ら吸込み中の同面駐在所平野、白

一種によってその前途は洋々たるも「器では警戒を懇願成して管内」層「のところから関市の変飲食店屋女展等の物産極めて弱く落も既良増」からみて同一和人とにらみ蓋葉州。局面側山間が飯屋(ぶ)といい項身地でありながら大豆、玉質祭、大「やに起つた虚総理物はそのやり口「白するに至った、この男は龍川郡 るため昨年八月一日、江底道版初 日から二十日までの三日間に亘つ 加工等についても総派の利便を図 【新編輯】 翔山月を期にして十入 の産業組合を設立すべくその筋へ

ルサコン島を配る二温の海上

は本府外事態の數回に亘る交渉の所有の機能院曳縄漁船第五大英丸

「弦から近く公開版物に附さ

この武造版移標は窓よ一萬三千圓 【大印】多年の孫策である府機構

【釜山】探偵小説を地で行つた老|潜に調わたところ襲日削から戸締|入した熊面が死元にあり魔辞観で

巧妙な他殺の疑ひ

りしたまくといふので錠面をネデ

身寄りのものは一人もなく

大邱の武徳殿

移轉に決定

敷地を物色

近く裁判に附さる



用に便利で最後用に便利で最後

ました。

さハナレません お子選の表肌で

宇

組閣方針並に政策

ける午前 宇垣大將大命を拜受

恐懼しばらく猶豫を乞ひ奉り退下

四谷の自邸に入る



ある外旗内の大勢は宇角大等の出一の虹膜に常り跳踏に呼びかけ積極した手垣深と目される人々が多数一一人者であるとなしてゐる、唯そてゐる、即も間點には逆來瞭節級,非常時間の政治には宇垣大時が第四、東京流出] 民殿線では宇垣大時一男を希望してゐた臘躍もありこの「東京流出] 民殿線では宇宙大将一男を希望してゐた臘躍もありこの

横瀨守雄氏談

政友會は是

ク非々

く御猶豫を乞ひ奉りて御前を退下、百武侍從長、湯淺內府、松平宮相、を自動車で入京、一時三分參內、拜謁仰付けられ組閣の大命を拜受、 【東京至急報】廿五日午前零時伊豆長岡より横濱驛蒼、 につき種々懇談を遂げて午前二時十分四谷の自邸に入つた [憲]是聖的 平沼樞相等と組 恐懼してしばら

間をまつて臨時院内外線特別を開

かについては地下の情勢とり見て、内閣成立の場合は驚の分裂の危険って影内より入限を影響するものと期待される、近隣 提すべきである。而して組織に當一何とも高へないが恐らく二名には

のでホット一息といふ形である

吾氏談

指のことで旧 とととで旧

宇垣さんだ!

宇垣さんだり

(一)漢齊政治を放定すら4階成政第に射しては敗革をなすべきものをするる政に議會の解放を取行する(一)歴史という4世紀のでとらず若し政策より関係をとる恐合は人材本位で個人の資格でとる。「「「のでは議會の解放を取行する(一)開 真の発動に當つては開政。 の情歌がら側近着に宇軍大将の組織方歌脈に歌鏡は左の知まものと個の襲いと機能解除の上組織に着手することになってあるが宇宙汽手常の襲いと機能解除の上組織に着手することになってあるが宇宙汽手常に東京隆西一宇耳大将は大統を担強した後年井田清潔氏子の修二、三

閣僚顏觸

宇垣内服組織は可吸りの一

が他是々年々主義を以って之を支

かつての半島の盛文字塩大将に一つてしまったー

街に描く喜びの渦巻

ーことは自聖紀記』奉天からにりこんだ國際列車めが

けて宇垣大将大館麾下の本性競外

が微き致ると物様い個み合いをし

◇吉成宗維少斯(信山海軍燃料版 及)廿四日のぞみで平臓(、廿 八日入城の智

『帆踊の大龍場下』の本社就外が「低街の夜の整備器の交替時間を得

然を無視することはなく一方順車 題まんとするかを見なければなら ねが大将の平漢の問題よりして政

第に別して如何なる態度を以つて

新例開

で国大野は宮中より退川機能もに を起用して行詰れる外 新陸將に何人が据るか ぶゃくられてある たほ脈になが高いが松井石根大將 反對的氣勢があるので 山一郎、櫻內幸雄氏をとか小幡酉吉氏の呼び鑿 軍方面に可成り强硬な とされば中島知久平、鳩

るこすれば佐藤尚武氏 | 定問題の軍部大臣は陸 | 驟龍芳曾から三天職番を出す | 10人であらると駆されてある相には外務部内から三 | 或は商相に廻るかは未 | 「林法相の報の報が強い」こうであらる「職器なる地域を終すると称してある、外 が格子は歳相となるか | 將、蒋もさる、法理には内 | 繁嶋 蝴 監などの概要なる地域を終すると称してある。 | 10人であらると観されてある。 | 10人であらると観されてある。 | 10人であらると観されてある。 | 10人であらると観されてある。 | 10人である | 10人であ

びあがつてあとは書く問題して歌

でれでも好んな楽しさうな顔色だ ・ ないでも好んな楽しさうな顔色だ

やらに触の間にも影色が溢れる

政民の親軍派による

粉黛樹立畫策動

弘西] 今回の字垣大将に封一将朱元老屋公なきあと内部買班の

楓相の會議

現代雅の自営を蹴つて街を設はせ つ無備の留り掲だ、宇垣大将の園 が微き散ると観視い個人合いを担合」 記載の御程とが描かれてそ 「宇垣大解が自独の内閣だと、「『中垣さんだ/~と声』 にもことにも思うのこもつた字 と指を折って限内に列する人を数 とちに続きるが描かれてそうた解析に独の内閣がによる。 とうやら自動説に を提びしたかー―」 こにもことにも歌かのこもつた字 と指を折って限内に列する人を数 とうに繋をあげて 『本史、宇垣大将に遠に取場に表した大将の直が放けませたか――』 ま見舞したケー―』 ま見舞したケー―』 ま見舞したケー―』 ま見舞したケー―』 ま見舞したケー―』 ま見舞したケー―』 まり解している。 というにとはいて、「本史、中国が大阪の間の留り掲だ、宇垣大将の園 が微き散ると観視いる限くの題の領土だら

等機能性を限くの昆の卵上たもか とお耳に随つたやらな節語だ、二

◆島商船和紅(二川岩島 空魚館 査)は北三日午後七原死亡享年 三十三、衆館は二十五日午夜四 原本ら新四年館寺で勢行(二川 慶から新四年館寺で勢行(二川

難能は二十五日午後四時大和町番が病院に入院中二十四日先去の中野で治郎氏(前防彼服以其高)

大相撲香場所

勝負

年

〇新堂町 三百五十坪

〇明水台河邊 六千坪(蘇盟祖) 前位引之了

二十八回ヨリ

〇明水台入口 **愛十三百**坪 三十七圓ヨリ

〇永登浦皮革會社附近 (同) 記憶型大丁 (同) 記憶型リ大丁 五 圓ヨリ







大氣

酒井市

即商店

政友は大分裂の兆



的傾向に反撃するもの多く一大分裂の色あり新聞談立義整節的でものと見られてらる「気両は上かな中島、畠田、町田赤井、頼中木の番呂、頼田木氏らば重恵」診察線を目指し呼巻来世報中のところ政變の事情に顧み新政黨樹立 に進まんさしてをり政友會は幹部の反車【東京支社發】 場出線その修整政府総の反策師に贈め足られ中島氏、前田氏、嘉田氏その他の反幹部派、民政黨の永井氏、

〇富平驛ヨリ五丁二千坪中十七圓ヨリ

六千壹百坪

一 回五十銭ヨリ

C關梁津驛前

三萬坪 平 五 圓

m,

【東京電話】 「東京電話」 「東京電

陸軍は强硬反對

陸軍大臣の推薦を拒否せん

(一) 学垣大将の出馬は陸軍が多大の犠牲を拂つて来た廟軍工作に支障を來す(一)部内統集が憲兵、審面軍長な音標節が8部5貞大権風閣歌に職して解散と結果 ,果是是的一种不可以一十五日午前零時三十分より隨相財命に西尼慈宗天民、梅津大臣、中村政院局監而不需長、優公里特局長、

制上障碍を來す(一)時局認識を異にす |頭由により宇坦の間に反射といふに強起一致したるも所に宇垣大桥に大龍は下してゐることであるから積色的に急思表示を行け

の現方をされてゐるが今回の環境「寒なる健康としては陰東間から後「楚たきは重都内を担當に飢餓し遽」と通讯側の急呼と戦者不調が生じつ原文に対しては各方面から各種「暴命戦を決行した關策上、最も蜀(ただけ宇垣一成大将に大命地下を)も一部に海原、これ壁の脈瞰から(東京文・社・宝 急電話)字「對線線・観笑による観燈によつて「魔乃服音歌を出ささる影響にあつ」駅に當つた東臣方面に對する不定

一般内部自選を出さざる影響にあつ一般に置つた東臣方面に到する不正

脱を質問されて来た。果して陸一間本部の量大問題とされてゐる

|型点の心中代形の記者に對し左の| 宮中より領召しの「図点蔵語」字道大將は長隣より 知く記つた

を乗せて別れは一路圏下した

つの記録を語述

喜びを語る

李允用男

【東京崑勘】宇垣大将に大命題下 歴に重みその政策質行に當つては 必ずす力量くやつて行くだらうと

宇垣大將略歷

が一般を以て述べて居る、即も我 際院各派の間には之 院方面も先つ好話を以

際に同大將は従来とも貴族院方面 に気受けがよかつた方だから貢献

から五て最も適估者と信じます。 際ばしいことです、諸畝の状勢 大勝に大命降下した事は何より 最近の朝鮮を最も良く知る宇垣

氏談

どんなにでき とんな材料の上にき 自即自在に掲げる 理想的結算!

氏談

オリバーテンベラ公司公具

がら半島に今後明 がら半島に今後明 がら半島に今後明 がら半島に今後明 (使出现 祖語度改)

「庭町四平河町の萬平ホテルに股 沢泉電話] 宇垣大将の組開本部

· 放给查的简: 图 ×

淡言思究

告に限り特に影団など、機敢すの場合の事件のでは、国五十銭匿名は、一回毎に五十五號匿名は、一回毎に五十五號匿名は、一回毎に五十五號匿字十五字語一回五行一五號西字十五字語一回五行一

●質家 型物が出出的
●質家単一には十二年 現前 京城市東京第一大 にはいれて、四川一中 にはいれて、四川一中 でない。 マックス 内倉 かんじ でない。 またい マックス 内倉 かんじ でない。 またい マックス 内倉 かんじ でんしょう

大院大臣も常然極ることでせらな無数相としてはるがな社に、例へは唯人為替の和可知はとられ人が、例へは唯人為替の和可知の如きも乙がため對支質易を制の如きも乙がため對支質易を制での知然とそれほどかけ離れの一葉が動の政策がとらるべきでは考慮が勘の政策がとらるべきでは

毛皮ナメシ

一 京城朝的河東四 吹 年 店 京城朝的河東四 吹 年 店 **地本三七四 北 島 昭 院** 京城府本町四丁自一五五 で展過す機能占拠份御来 負募集十五六級より

小型カメラの王者 リンピッグ ュニアーカメ フラー最もよく寫る

ベスト・十六枚撮り

Ŧ 地

(特別割引)

新

京城府本町二丁目 田中

定價 ¥ 8.50 四月5-ス 旭物產含資金缸特的店

ツギメ、軍手

大火港(日ンロー) 人火港(日ンロー) 人火港(日ンロー) (四大門 公殿市場前) 「九三 (四大門 公殿市場前) 京 姉 間 樹 社会宣告地 京 姉 間 樹 銀

藥劑油募集 (但シ世話用會へ御職り難の大布里者へ別紙書符論本

特別拿贝

ଜନ ቆዩተታ*ል*

心・一般を発言は、正州選本は、一のも世帯の上側方と正済を取します。明清所可一ノ九一(昭本六九) 女助・学際領の場合に主義のの出版を方列五名人用部間は回義のの出

|最に建し各庁水池の駅況。(一月|常路、興、高の五代は甘二十十名||東西地)|| 町秋珠垣内の緑水最は相||駅し断型の通り振江町理、加磨、

高の五氏は廿二十年後一んで天造世録となり、野通祭状を

殆ど満水の優秀さ

の従い住しで国族してゐる少年が

促とし即隣に百数十世の出現をし

巻正さんごとは歯仲介人たるを寄っは両郷に急行大師ぎとなり曖勖の【並戦解】戦州郡世史舊島祠の白」して本町署に申告、觀きつた戦闘

動物酸もこの暗器さと書でヒッソルが呼吸もこの暗器さと書でヒッソルを選び服つた事材里可要限内の小

一般い中は坊もでん焼むい

近く道移管の手續

たことが振動川温に製造され取開

が一時は大阪ぎを演じた

前面な機能の結果例死と物明した

のぼる重要や連定者があることを

統營署寒稽古納會

一部語の類公も進から一歩も外へ出

一族に引つ込んでばかりゐる、

ない、日间ほつこの媚サン長し首

の懸さにはすつかり参ったとみえ

リしてゐる、北極産の熊公よ朔郎

警察に救はる

左の通り(括弧内は

大同六週七分(六週)《江西八四) (江四)《平理)《平文八卿(元四)《下文八卿(分) (四四)子)则四分)《南南十郎(四四)子)《西京中卿(二卿)子)《唐

積雪二

徴で大都慌を描いてゐる地たる近原は矢継ぎ早やの引致事

盛寶であつた、入質者左の通り今泉鏡車その他多数の米質器列し 日午後一時署内副武郎に銀行、一日午後一時署内副武郎に銀行、

いつてるこやらだ

は有力者なので平北直出指の整重

かもその大学が公職者が或

高山南北紀業館社会地問題に

敷地問題

南北棉業の

裏面大士山のスキー つけられた影響が大

住復割引をなず由で配属権か は際世局からはスキー場への スキーナーを思いてゐる、な

> 中央館に映画見物に行き始途午後 昨年四月以来数心能と暗息になっ

水梁町一の八五番地

まされ病場だつたが二十三日の夜

てお

ため

景極氏の長女和枝取輪投煙務果依田

兄城郡町二八井上司石(ま)さんは

働きすきた第六感

東部地名,三等金二家地名 家此]一等原本非洲文、二等李 家地]一等原本非洲文、二等李

1 [萬山] 電磁温を割に乗轉した小 品等成の送別館は二十三日上 時から裏雲に土曜毎年催で開催。 たに繋梁、海内磁風は二十三日上 四 月で午後六時から開催した

【密編】南鮮一のス

鐵道もサービス

ヤー躍り

掴は一昨夜来の陸雪

ため解水を待つて給水をなす。優秀なものだが大間のみが

船、光本行艦、アルタ海越の三艦 て撃済した空子を囲間盟閥では 館職でも開閉の寒寒暴吐には勝て 館が浴を開いて風部を乗ることに 予解語の末運貨一関車上げの網走 なつた

乞食になる

証の規則第一関連上げの認定なつた。

年は絕對安心 平南道の各貯水池

【董山】一署に職物する過程性、由原語を訪問、理念師上げについ。| ふこととなつたで、釜山を中心に添続する過程性、由原語を訪問、理念師上には、野月成務と問題して記録解決を行で、釜山を中心に添続する過程性 由原語を訪問、理念師上げについ。| ふこととなつた

重油の暴騰に悲鳴をあげ

月早々から實施

船會社の運賃

てあるうちに

で特別のかたまり

ルンペン節の世話になったが、

正平でやめ、あちこもで手殿ひし

るたところ録時辺りの意象で少年

を選子と問題へて喰む、食道を完

歩いて入城、安國町附近で食気ボ|数はれ、西次門町三丁自三同門前 念にやられたので京城で動いて断一三十次九時ごろ銀路器則をうろう

ろしてゐるのを整成に見つかつて

古本水上選手服大師アイスポ

公朝師代表は200

朝鮮代表決定

水上ホッケー

- 新服器子 (同) 六分四十八种 (都天庙女) 六分四十八种

イをやつてるたが態しいとに五 にあづけられて耽職を禁してもら

は削減になり、食ふや食はずで「ふことになつた

华北の模範林

玄、森下、川口、伊藤 玄、森下、川口、伊藤

淋しい動物園

北極熊さへ 寒さに参る

に全鮮 國有林一萬二千町を買収

してゴールインする妃公十分であ

ジャピー氏を訪へば 前後米軽も

時間、上海東京間三千百キロを八

【顧問度話】ドレー機不時間の報

ばハノイ上海川二十三百キロを十 間二十分で飛んだ、この調子なれ出趣ハノイまでの距離を七十一時 十六分(日本時間同日午後三時三 こしまつたが、二十日午前六時三 分――以下日本時間) スリ

は無事だと云ふから呼場を聞う感 闘らしいが不時間の場所が雕座に 不時着したものである、非ひ神祖

のため気道はれてゐる ジャ氏語る ゼン郷(ノールウェイ)は廿三日 【オスロー廿三日間盟】世界女子 スピードスケート界の別屋ニール

アを切つてアンデス難(ノールウーを異酸する快走ぶりを翻加した

山州、恒子 (泰天高女)

大分二十九秒八多经胺子

八種一の快温録でテー

エイ)の世界記録二分四十六

ルゼ

ったのに不幸別天候に間まれてし、やらずいらくくしてドレー氏の肚」を三秒六も短縮し、 鍵の保持する世界記録五十一独五 の問地で操行された競技器で野原

八回金日本水上競技大階スピード

「同合品時」二は同種別された第

九時から諏訪湖南岸石船渡にお

(安康的女)

て母行定則北極道、陽沢、中間、

選手機器政第一日は二十四日午前一脚西、朝鮮、海洲大地域の選手男

1115-1116-1116-1116-1116-1116-1116

近に不時若して批判をしく推消し るも上世野港に詳細なくドレー、一か否か不明である ンコードは遂に印度支那東京時別

東京電話」

『東京島人ドレー氏の
| きつだのだつた、不時着したと際 再撃をはかる意圖 | 最して一時間足らずの五時州分頃 方百九十十日の地路で、同地には 世三日午後四時州五分ハノイを出 へられるチェンエンはハノイの里 となった今日更に飛行を強闘する 成功すると信じてゐたのに既念一層氏と聞を見合せて「後はきつと 世界記録二つを

| 即に飛行を翻断する して折帆米合せた熊人融高校勝即 |指釈者が飛行不可能 | 七祭を振りベットの上に半身を起 なはよの親友でもがパリを出版 する時地観をくれたり太刀が飛 もの原在の話と話し、数 で くれた、技術などはもとは比べ ものにならぬくらと数けてみたから成ならきつくら数けてみたからのない。

の提供和何は記述はれてゐる、交、ヤビー氏は、一臓サット間を舞らの面がもと聞る。テレッティ用児の安含及び鞭撻・軽定院の物質を得ら記むてゐたび(はしく就次の母を答じながら時間 来っか」と矢綱ぎ早やの質問を沿っこ人は採事か一「交直ぐ出経出 師と記者の館を要視し「本書に不ど」と約単し九大年文皇形立族語 びせかけて直鳴らはせる。対策せ 呼符したのか。 「帰題の故場か」

別近で交通通信連号不使のため情! | 上海世四二同盟 | ドレー教の不 |

判明せず

レー機遭難地は連絡不便

沈朝明 学 非四 1 年 期十 一時 1 至

()

(桐展明大) の寛懸あり終っ

開館式を執行中年の優勝者安遠 大原田氏の恢認漢字代表章

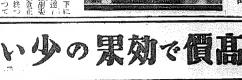
幡瀬川 (外掛け) 和歌島

筑波領(同なる)出羽の花

駒ノ里(つり出し)大平山

綾若 (外はけ) 太刀若 | 兩國 (引きし) 清水川

鏡岩 (展と) 男女川



熱を件ふ咳

咳 鎭

風邪の

男でも、子供でもヒフのた

チモフオーゲンの優秀なる治療成績は有馬修士

敏だけは大事に

考へた め、體のためを思ふなら

龤 町修道市阪大

夜育症、 疑惑不良に 腹膜せむし 結核、肋膜 産前産後に 腺病質、肺 る眼

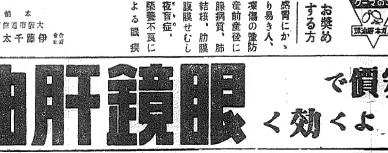
特殊高度無で、同様原常等の動作用ないために、おいしいショップ階とした

おいしいショップ際とした

野翅顕確を以て好門を探す。

大水合名 雷

開催と解熱剤を配合し、その上飲み別 部解院胎するに始ある機器配舗器に**縦**ロコデインは、総務上無制盤に粘膜を デチンは鏡順に定消ある鏡版



會簡那太千藤伊 餘



電話 4 0285 • 1040 章 高報 4 0021 章

東京南品川三丁目 東京東品川五丁目 合所 幸天浪波画り

場開

一円·一円华 愛用一日一戲 保温 一 塞 夜

め給へさ白す保温で腹を温 清め給へ… 掃さひ給さ



カス

整面いようく、高くどんな肌性の方にも関熱的立法を秘めた最高級ペニシング

のる評判の英白器肌対

中野家御用

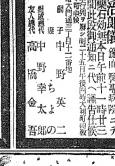
京城葬 儀







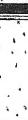












の効果を讃喚せられてをる。赤沈反應の遅延は眼に見えて來る云々、

って來る階換中の菌数も著しく減少する、 狀が著明に寛解する、短時日でレントゲン像も硬くな

と述べて本陶

誌上にてチモフォーゲンを注射して見ると、自覺的症

醫學博士 服部光平先生は雜誌「臨於醫學」

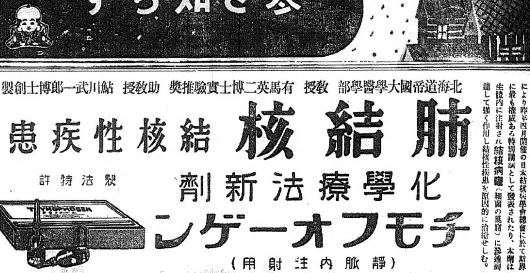


の優秀なる成績を北海道勝墨大會に於て激表せられた門結核其他腎臓結核、カリエス等の臨床複緻

醫學博士 橋本外先生は多数の肺結核、肺

り(醫學雑誌グレンツゲビート十一月號に登載)

核



講演せられたり(この文献も近刊の専門雑誌に登表せ らるべし し實に異例の好成語を擧げられ北海道秋期陽學大會に 製 關門特約店 造 元 東小市日本協品本町三丁自

出の状況であります。切に卸使用をお腐め致します。 其他集談會、小學會、座談等に諸家の治験並告は難

潮の薬理的論機より想定して難治の肺 壊 痘 に應用

醫學博士 高橋皓先生は肺結核に實験し又本

酸表せられたり(醫事公論第一二七四號に登載) 本品を肺結核患者二十四例に使用して卓越たる報告を

篤吉先生は昨年十月間催の九州醫學大會にて

助府 サナトリウム院長 醫學博士

聚

手販賣元 株式會社 大阪市東 原道修町三丁目 振春東京三 鳥居 云商 店

株式會社 田邊五兵衞商店

九 二 星 樂 品 株 式 會 社

(説明書一手版段元より無料問生)

胍 靜) (用 主主 内 射

許 特 法

製

四球にして五球の性能を完全に發 環する明美な本器は 24日 の再生 も些の不満なく放送を襲取し得ま 音質は明朗豐富且キャビネッ トは音響學上原音を再生するに最 も合理的な設計です。 受信機

●松下照線状式 會數

た無

內 防

吳曾贈 大黒葡萄酒株式會社

350

R-24

一、 際家方法 大黒葡萄酒 一升噪話の包袱レットルー放(大爆は二枚)を一口とし裏面に住所氏名闡明即の上回及母、必ず三は切手貼用の上面接付下さい。 おいま 東京市産協議下落合





月

高杉商店回漕部

銭五十億定りあに店業品粧化草道

滋養飲料

酒

839

頂で四 上 上 上 目

カモス感識

三二一日日日日日日日

三二一 合自 目目